

〈地域×再エネ×若手〉第二弾 集中連続セミナー
「再エネで地域とキャリアをデザインする in 京大」
事前課題説明

- 課題1は事前学習用です。
- 課題2はセミナー1日目に、課題3はセミナー2日目に記入してそれぞれ2枚ずつ持参してください。
- 1日目または2日目に参加しない方も課題2、3を2枚ずつ持参して3日目に参加してください。最後のワークショップで使用します。
- PC上で記入しても手書きでも構いません。

課題1：「再生可能エネルギー基礎知識クイズ」→事前学習用

この課題のねらい：再生可能エネルギーの世界や日本の動向についての基礎知識を確認しましょう！解説や参考資料でより知識を広げましょう！これらをふまえ、各スピーカーの講義内容にも最低1つは質問を考えてくることで、講義をより有意義なものにできます。

- ・ クイズへの答えと解説は9/19（金）に発表予定ですので、答え合わせはご自身で行ってください。
- ・ 解説を読んで、より詳しく知りたい点や気になる点は参考資料で確認してください。
- ・ セミナー開始3日前には、講師のプレゼンテーションも順次ウェブサイト上に公開されますので、事前に読んで質問を考えてきましょう。

課題2：1日目グループワーク向け課題「地域の〇〇×再エネで未来を創ろう！」

この課題のねらい：地域のことを見つめなおして、再エネと掛け算したらどんなことが起こるか自由な発想で考えてみましょう！まちの魅力を上乘せしたり、まちの困ったことを解決したり、未来の地域づくりへのヒントがきっと見えてくるはずです！セミナー1日目はこの課題をもとにグループで話し合います。

※全体で1ページ以内に収めてください。

■どの地域？

- ・ 生まれ育ったまちや住んでみたいまちなど、自分が「このまちで再エネ事業をやってみよう！」「このまちで再エネ事業が始まるなら関わってみたい！」と思う地域をまず考えてみてください。
- ・ 具体的な地名でなくとも、都市部がいい、自然エネルギー豊富な地域がいい、観光が盛んな地域がいい、などの特徴を持った地域を想定しても大丈夫です。

■どんなまち？

- ・ 地域を決めたら、そこがどんなまちか、端的に書いてみてください。
- ・ 具体的な地名を挙げた方は、行政のウェブサイトなども見てみてください。自分の生まれ育った地域でも、自分の知らないことがキャッチフレーズになっていたり、改めて見直す機会になると思います。
- ・ 具体的な地名でなく、ある特徴をもった地域を想定した方は、そこがどんな地域かグループの他のメンバーに説明することを想定して書いてみてください。

■地域の資源や強み・弱み × 再エネ = なにかいいこと! (最大5つ)

- ・ 左側の□部分には、地域の資源や強み・弱みを書き、再エネと掛け合わせます。
- ・ 地域の資源とはヒト・カネ・モノ、再生可能エネルギーの利用可能性、名物名所、歴史や文化、B級グルメなどなんでもアリです。
- ・ 「うちのまちには資源なんて何もない」と思うかもしれませんが、大丈夫です！たとえば子供の頃から慣れ親しんだ当たり前にあるものを思い出してみてください。「こんな県内どこにでもあるしな」と思っても、別の県の人からみれば珍しいものもあります。それはあなたのまちの資源です。
- ・ 日本中にあるものや日本中にいる市長だってその地域の資源です。
- ・ 多くの方が強みばかりを探してしまいます。強みはもちろん重要ですが、弱みもとても大切です。弱みは見方を変えれば強みになることもあります。弱みがあるからこそ、その克服に向けて一致団結する機運が生まれることもあります。弱みと再エネを掛け算してみてください。予想もしなかったものが出てくるかもしれません。
- ・ 右側の□部分にはその結果なにか地域にとってプラスになることや再生可能エネルギー事業が進むことなどを想定して書き込みます。
- ・ 【具体的には?】には、グループの他の方にわかるような説明を書きましょう。

課題3：2日目グループワーク向け課題「将来のキャリアを再エネとつなげよう！」

この課題のねらい：いったん持続可能な社会やまちづくりに視点を引いてみたうえで、自分のライフステージ毎のキャリアとそのときの役割を自由な発想で考えてみましょう！地域で、家庭で、仕事で、色々な関わり方があることに気付くはずです！セミナー2日目はこの課題をもとにグループで話し合います。

※全体で1ページ以内に収めてください。

■1) あなたにとって持続可能なまちとはどのようなまちなのかを「**自分の言葉で**」書いてください。

- ・ 「持続可能な発展」の一般的な要件は、「将来世代のニーズを損なうことなく、現在世代のニーズを満たすこと」とされています。
- ・ けれど、具体的にそれってどういうこと？あなたにとって持続可能なまちってなに？ということで、自分の言葉で持続可能なまちを表現してみてください。たとえば小学生高学年の姪っ子や甥っ子がいるとして、彼らに説明するつもりで書いてみてください。
- ・ なるべく具体的な方がよいです。このまちがこんなふうになっていれば持続可能だ、という定義でもよいですし、ある要素に注目してこうなっていればよい、という定義でも構いません。

2) あなたの将来のライフステージごと（たとえば30歳、50歳、70歳）の目標と、その時点での地域再エネ事業や持続可能な社会の中での役割を教えてください。

■何歳ごろ、どんな事をしていきたいですか？（地域でも、家庭でも、仕事でも）。

- ・ たとえば30歳、50歳、70歳で「こうなっていきたい」という目標を書いてください。地域でも家庭でも仕事でもよいので、「地域で祭りを仕切っている」でも、「2人の大学生の子供がいる」でも、「会計士の仕事をしている」でもなんでもアリです。

■そのとき、地域再エネ事業や持続可能な社会づくりにどのように関わりますか？

- ・ それぞれの年代で、たとえば「地域の再生可能エネルギー事業の会社立上げに関わっている」でも「主夫（主婦）としてお金の管理をしているので、市民出資事業に投資している」でも、「学校の先生で、環境教育をしている」でも「引退して悠々自適なので、〇〇している」でも、自由に考えて書いてみてください。